

ICT活用教育

中学校3年 英語
君は新聞記者だ！本文に合ったタイトル、何にする？

実践事例 NO.5 2

発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

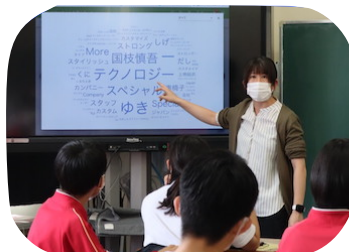
英語の新聞記事の概要をつかもう

生徒はこれまでの学習から、パラスポーツについて興味を持ちはじめました。ここではパラスポーツについての英文の記事を聞きとる活動を行います。聞き取れたキーワードをスクールタクトで共有し、それを参考にして、個人で繰り返し英文の聞き取りを行います。次に英文の新聞記事を読みながら概要をつかむ活動を行いました。友だちとも協力し合いながら読み進めます。

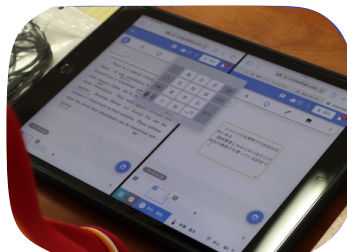
新聞記者になったつもりで本文に合ったタイトルをつける課題に取り組んでいきました。



①パラスポーツに関する新聞記事の英文を聞く活動を行います。個人で聞き取ったことをスクールタクトに書き込みました。



②友だちの聞き取ったメモをスクールタクトの共同閲覧を活用して参考にしながら英文を各自で繰り返し聞きなおします。ワードクラウドでも共有します。



③Today's Goalが「君は新聞記者だ！本文にあったタイトル、何にする？」であることを確認し、英文の記事を読みます。スクールタクトの次のページにメモします。



⑤友だちのところに移動し意見交換をしながら英語の新聞記事の概要をつかみます。ワードクラウドを用いてどのようなことが分かったのか全体で確認をしています。



⑥新聞記事の本文から分かったことを短い文章でまとめます。
記事のタイトルを自分ならどのようにつけるか考え、スクールタクトに書きます。

There is a special wheelchair company in Chiba, Japan. It was established by Ishii Shigeyuki. **He himself was a wheelchair user, and was not satisfied with ordinary types.** So he decided to design custom-made wheelchairs. They were **lighter, stronger, and sportier.** Kunieda Shingo and Kamiji Yui use his company's wheelchairs in their matches. These athletes show the world that wheelchairs can be functional and stylish.

④気になる英文には線を引いたり、書き込みを行ったりします。
結果を友だちと共有しながら、さらに読み進めていきます。

東部中学校 英語科 鈴木摩耶 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

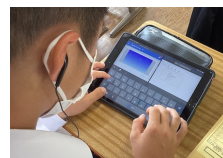
学習者用デジタル教科書を利用して効果的に授業を展開する



学習者用デジタル教科書は紙のそれに比べて、音声や映像を視聴したりすることができます。しかし、授業の中心は言語活動です。あくまでも授業のサポートをするものだと意識して活用することが大切です。

また、個別最適な学びのために活用するのが協働的な学びのために活用するのを事前にきちんと検討しておく必要があります。

活動の直前に単語や表現を確認



単語や表現を確認する時には、音声や映像をただ視聴するだけでなく、まねをして言ったり、音声と同時に言ったりすることで、次の言語活動につなげていきましょう。

授業中に個別学習の時間をとって



個人学習の時間は、単に自由に視聴させるのではなくスクールタクトに記入させるなどの工夫が必要です。児童生徒は主体的に考えて「自己調整」できるようになっていきます。

言語活動を行う前に使用する単語や表現、音声を確認しておく児童生徒は自信を持って活動することができます。短時間でもデジタル教科書で音声や映像などを活動の直前に「自分のペース」で確認しておくことによって、スムーズに言語活動に入っていくことができます。

英語のデジタル教科書を使用するメリットの1つは、映像と音声視聴できることです。児童生徒が必要に応じて、授業中に自由に視聴できる時間を設定すると良いでしょう。イヤホンが必要となりますので準備しておくとう良いでしょう。

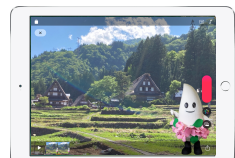
スクールタクトで意見を共有する



友だちのメモを共有することによって次に聞き取る時のヒントがたくさん見つかるようになります。自分になかった気づきに注目して何度も気になる部分を聞きなおすことができます。

デジタル教科書の「Preview」の場面では聞き慣れた単語をスクールタクトに書き込んで、共有すると友だちのメモをヒントにしたり、グループ課題としてみんなで考え合ったりする活動を通して、必要な情報や概要をつかめるようになっていきます。

Clipsでクリエイティブな学びを



発表の場面で、主体的に学習に取り組む態度を評価しようとした時に、教室の前では上手く喋れない子はClipsなどを使うことによって、頑張りを認めることができます。

Clipsは簡単に扱うことができるアプリです。紹介したい外国の写真に英語の紹介を自分の声でふきこんで動画が作れます。できあがった動画はポートフォリオとして評価に使うこともできます。（関連記事：ICT活用教育 NO36）

伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現